

当センターでは、地域づくりのための活動費の一部を助成しています。

音楽祭で地域を  
つなぐ事業報告

ほりえみらいくらぶ

堀江をてらせ！うみてらす

ほりえみらいくらぶ 代表 平坂 俊也



ほりえみらいくらぶは、松山市堀江地区を活動の場として、堀江地区の青壮年を中心として、5年前に任意団体として発足しました。現在では、NPOに改組するとともに、堀江公民館などと連携して、地域内の各種イベントの共催など地域に密着した活動を実施しています。

ほりえみらいくらぶでは、呉・松山フェリー航路廃止後の堀江港が、海の駅「うみてらす」に生まれ変わったことを契機に、「うみてらす」を堀江地区の地域活性化の拠点と位置付け、真夏の音楽祭を実施するとともに、海辺の清掃と環境保全に対する啓発活動も同時に実施しています。

「サマーフェスティバル in ほりえ」

音楽祭は開始当初「サマーナイトフェスティバル in ほりえ」として、「いい音楽とお酒の夕べ」をコンセプトに、大人のイベントとしてスタートしました。今回は、出演希望者の増加もあつて、開演を14時とし、名称を「サマーフェスティバル in ほりえ」と変更しました。

準備時間も含めると12時間を超える長時間のイベントとなりました。

イベント当日

当日の朝の天気予報は、午後から雨。どうするか悩みましたが、晴れ間も見えていたので、晴れバージョンで準備開始。しかし、音響さんからは舞台の上でテントを張ってくださいとのこと、テントを張ったり、急きよ雨どいを設置したりするなど、雨対策に追われました。どうにか11時過ぎには、会場設営が完了して、リハーサルとになりました。リハーサル中に小雨が降ってきたり、出演者の準備が遅れたり、ハラハラしました。音響さんがうまく対応してく



会場と一体になったパフォーマンス



熱唱する出演者

れました。イベントは出演者の方の熱演で大いに盛り上がり、盛大なものとなりました。心配された雨も、小雨程度でなんとか持ちこたえました。みんなの絶対に中止したくないとの思いが通じたのだと思います。

これから

当初、大人のイベントとして企画した音楽祭でしたが、昼間がメインのイベントとなったことで、子供も参加できるイベントになりました。家族連れも多く集まり、様々な世代の方が参加し、楽しめるイベントへと成長したと思います。今後は、より地域に密着できるようにメンバーの拡大と認知度のアップを行ってきたいと考えています。